

こんぺいとう通信

2011

3

教室のみなさん、こんにちは (^^)

3月に入っても、寒い日が続いていますね。寒さも嫌ですが、暖かくなったらなっただ、今度は花粉が大量に飛び回りそうで、それも憂鬱です。これを書いている今も、もうすでに目をこすりながらなんですけどね。鼻水も滝のように出てくるので、この時期ティッシュの箱は手鼻放せません。

それに伴って、この季節に困るのが鼻毛問題です。鼻をかみ続けていると、いつの間にやら鼻の穴から鼻毛がチョロリ。いや、チョロリぐらいならよいのですが、もう信じられないぐらいの数が飛び出していたこともあり、大笑いされたこともあります。それはさながら、“バカボンのパパ”状態。さて、鼻毛問題が問題たる所以は、鼻毛が出ていることに自分ではなかなか気付けない所にあります（よね？）。



（…あっ、センサー鼻毛が出てる。教えてあげようかな。だけど、ちょっと言えないよなあ…）というようなシチュエーションは、生活の中で多々あると思います。そんな問題でお悩みの私やあなたに、とっておきのサービスをご紹介します。その名も「鼻毛通知代理サービス チョロリ」。詳しくは、下記のページをご覧くださいね。

<http://hanage.info/>

上のページの見方がよくわからない方は、勇気をもって相手の方に「鼻毛、出てますよ」と教えてあげるか、さもなければ教室で私に聞いてくださいね。

今や、パソコンの世界はクラウドコンピューティングが主流となりつつあります。

「クラウド」というのは直訳すると「雲」ですが、ここではインターネットを指しています。

パソコンでデータを作成した場合、従来はパソコンの中に保存するのが一般的でした。けれど、それだと不便な面が多々ありました。その最たるものは、データを保存してあるパソコンが手元になれば、そのデータを見ることができないということです。

「そんなの、当たり前じゃないですかああ！」（笑）。確かに、以前はそれが当たり前でした。けれども今ではもう、当たり前ではなくなっているんですよ。

例えば、お友達の家遊びに行き話弾み、「そう言えば、この間の飲み会の時の面白い写真があるんだけど、家のパソコンの中なんだ。持ってくればよかったな」というシチュエーション。

でも、ドロップボックスというサービスを利用していれば、「ちょっとパソコン、貸して」と言って、お友達のパソコンとインターネット回線を使って、自宅のパソコンに保存しておいた写真をその場で見ることができるのです（もちろん印刷も）。

これは、データ（写真）をローカル（自分のパソコンの中）だけではなく、クラウド（インターネット上）に保存しておくことで、簡単に実現できます。手順も驚くほど簡単なんです。

他にも、会社で作りかけの書類を家で仕上げたい、などという場合、従来はUSBメモリに保存して持ち帰るか、メールで自分あてに送付するかでしたが、ドロップボックスを使えば、そんな面倒な手間は必要なくなります。

ここでは、クラウドサービスの例としてドロップボックスを挙げましたが、それはほんの一例です。

Gメール、エバーノート、グーグルカレンダー…使い始めると本当に便利です。それらに共通するのは、私たちがパソコンの置いてある場所から解放されてどこでもデータを利用できるということなのです。